

子どもたちと絆を結びましょう

「私の授業を終えて家に帰った子どもたちが『とっても楽しかった。一日中遊んだんだ』と言ってくれたら嬉しいです。だって、子どもたちはそうやって学んでいくのですから」
アマダ・ジョンソン (ラドナーナーサリースクール)

子どもたちと関わることは時に大きな挑戦を伴います。彼らは私たちが考えている以上にとても繊細です。『フォレスト・ガンプ/一期一会』という映画には「母はいつも、人生はチョコレートの箱だと言っていた。開けてみるまで分からないってね!」というトム・ハンクスの台詞がありますが、子どもたちもまさにこの通りです。小さな生徒の皆さんの性格はひとりひとり大きく異なります。

幼い子どもたちを教える立場として、先生と生徒の間にしっかりと絆を築くことが非常に大切だと考えています。なぜなら、これは子どもたちの学びの基盤になっていくからです。先生が、または親が誠実に向き合うほど、子どもたちも話を良く聞き、自然とやる気が出るようになります。

幼児の指導を何年も続ける中で私が見つけた、小さな学習者さんたちと前向きで持続的な絆を結ぶのに大切な5つのことをここに紹介したいと思います。これ

は私たち親が子どもに何かを教える時にもきっと役立つでしょう。

努力すること

子どものことを心から理解するために、しっかりと時間と労力を注いで下さい。ありきたりに聞こえるかもしれませんが、これは真実です。心から大切にされていると、子どもが実感できることが重要です。

子どもたちをチームの一員にすること

このためには責任を共有することをおすすめします。信用していることを子どもに示すことも有効です。こうしたことで子どもの自信とチームワークを高めることができるでしょう。

話を聞くこと

積極的に話を聞くことで、子どもが伝えようとしていることを把握できるようになります。子どもたちは話したがりですから、耳と心を傾けて、良く話を聞いてあげましょう! 何かに取り組んでもらおうと思う時、鍵になるのは積極的に子どもたちの話を聞く姿勢です。

認めてあげること

子どもたちの言っていることを聞いたから、その意見を受け入れてあげましょう。子どもは話を聞いてもらえたのだと分かるようになりますし、教室であろうとそれ以外の場所であろうと、自尊心や自信を高く持てるようになります。

誠実であること

子どもたちは周囲の誠実さや正直さに非常に敏感です。私たちが本当のことを言っているのか、それとも嘘なのかを理解しています。子どもたちの世界に心からの関心を持つことは、彼らにとって大きな意味を持ちます。もし幼児と、またはそれ以外のどんな人であっても、心から通じ合いたいと思うのなら、彼らの世界に飛び込んで下さい。世界を彼らと同じ視線で見て、同じ感覚で感じて、同じ方法で理解しましょう。子どもとの絆を築く上で、やらされている感は厳禁です。あくまで自然で自発的になるよう進めていき、やり過ぎてしまわないよう気をつけて下さい。

講師の仕事には困難もやりがいもありますが、子育てにも全く同じことが言えると思います。幼少期とはどんなものだったか忘れてしまったと思うようなこともあります。自分の子ども時代を思い出し、その立場に立って常に一生懸命考えていかなくてはなりません。子どもはひとりひとり違います。しかし本当の絆を結ぶために自分の時間と労力を注げば、子どもたちの学びの助けとなるだけでなく、彼らがしっかりと自分を持って生きていく支えにもなってあげられるでしょう。

ブルーム・パスクアル



School information!

スクールからのおねがい

カフェスペース(カフェ入り口付近のテーブルや椅子)は待合室としてご利用頂けます。しかし平日午後4時以降(土曜日午後3時以降)はレッスンを開催しておりますので、恐れ入りますが大きな音を立てることや、匂いの強い食品等のお持ち込みはご遠慮下さい。

また、デッキや駐車場を走り回るのは大変危険ですでお止め下さい。思わぬお怪我や事故に繋がりがねませんので、お子様が駆け回ったり、柱に登ったりされませんよう、保護者様からもご注意下さいますようお願い申し上げます。

より良い環境作りのため、ご理解ご協力の程よろしくお願致します。



School Holidays!

休校日のお知らせ

4月から6月の休校日は以下の通りです。

【4月】1日(土)、29日(土)

【5月】1日(月)~6日(土)

【6月】なし

※毎週金曜日と日曜日は定休となっております、レッスンはございません。

休校日にメールや留守番電話等でご連絡を頂きました場合、お返事は翌営業日以降にさせていただきますのでご了承下さい。

ご不便をお掛けしますが何卒よろしくお願致します。

